

早稲田大学 vs 慶應義塾大学

11月16日(日)
11:30K.O.
味フィ西

リーグ優勝を目指していたものの、19節終了時点でその可能性が消えた早大。それでも、ここのことろ苦手としている専大とのゲームはしっかりと勝ち上がったが、結果は2-3の敗戦となってしまった。

「悔しい結果でしかない」(古賀聡監督)
最終戦で敗れ、国士大が勝てば、5位転落の可能性もある。すでにインカレの出場権を獲得しているとはいえ、18節から4試合勝ち星なし(1分3敗)だけに、しっかりと勝ってインカレに結びつけたいところだ。

「ボールを奪ってからのところは自分たちの強みだし、実際に相手の陣形が整う前に攻撃できていた。しかし、そこでの質や精度はもっと高めていかなければならない」(古賀監督)

また、ここ2試合は失点が多い。「相手の攻撃に対してウチの守備が広げられ、相手の中盤の選手をつかまえきれない。同じような流れで相手に決定機を与えてしまった」(古賀監督)

しっかりと修正したい。一方の慶大は、駒大とのインカレ出場権(5位以内)を争う一戦だったが、先制点を奪ったものの2失点を喫し1-2の敗戦。

「力負けだった」(須田芳正監督)
この日も苦手としていたCKから失点。しかし、セットプレー時における守備だけの問題ではない。「それだけ相手に押し込まれているということ。前期の失点は確かに少なかったが、それは相手に与えるセットプレーの数も少なかったのではと思う。ただ、選手たちは非常によくやっているし、今年は守備を徹底しようとしてここまでやってきた。少しラインが下がっていたのが問題で、恐れずに押し上げていきたい」(須田監督)

前期の対戦：早大2-0(シュート数13-4)慶大

早大			慶大		
12. 八角	8. 堀田		7. 川田	3. 溝渕	
4. 金沢	14. 山内			5. 並木	
	10. 近藤洋		18. 浅間		
1. 松澤			17. 山本	6. 望月	1. 峯
	2. 奥山			10. 端山	
3. 田中	11. 上形			2. 久保	
5. 新井	36. 鈴木		24. 長尾	11. 増田	

専修大学 vs 順天堂大学

11月16日(日)
13:50K.O.
味フィ西

前期を首位で折り返しながら後期はケガ人の続出もあり苦しい戦いが続いた専大。一時は3位まで順位を落としたが、前節で早大を3-2で下して得失点差ながら首位に返り咲いた。

「勝つしか優勝の望みはなかったもので、勝ててよかった。内容うんぬんよりも、優勝するために勝ち点を積み重ねていかなければいけないという中で、選手たちがあきらめずに戦ってくれた。この時期は結果がすべてなので、逆転で勝てたことはよかった」(岩淵弘幹コーチ)

私市一樹(2年)が2ゴールの活躍。佐藤遵樹(2年)も1得点1アシストと、新たなヒーローが生まれているのはプラス材料だ。

4連覇という偉業がかかっているこの試合。前日の明大の結果次第だが、明大が10点差以上で勝たないかぎり無条件で勝てば優勝。しっかりと勝ちきることができるかどうかは、攻撃陣の出来がカギを握る。

優勝に向けて厳しい状況に追い込まれた順大。前日に明大が勝っていれば、その時点で優勝の可能性は消える。前節の明大とのゲームは0-0のスコアレスドローに終わったが、

「頑張ったと思う。われわれにとってはナイスゲームだ

った」(吉村雅文監督)
4試合連続の無失点に守備は十分な手応えとなったが、攻撃に関してはFW佐野翼(2年)が20節で負傷して長期離脱中。佐野は8ゴールとチームの得点源だっただけに、大きな痛手となっている。「佐野が抜けた穴を埋めるプレーができなかった。ほとんどシュートが打てなかったので、工夫していきたい」(吉村監督)

最後の1試合にすべてをかける。

前期の対戦：専大1-2(シュート数11-6)順大

専大			順大		
5. 小口	11. 前澤		27. 毛利	3. 吉永	
6. 河津				5. 新井	
	17. 私市		6. 長谷川涼		
1. 福島	7. 北出	9. 山川	10. 長谷川竜	21. 大畑	
	8. 星野		15. 青木		
3. 萩間				7. 内山	
				4. 谷奥	
2. 北爪	18. 東		11. 米田	2. 友澤	

※布陣は前節を参考にした予想メンバー

JR東日本カップ 2014 第88回関東大学サッカーリーグ戦



OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.21-NO.22 Division1



編集：加茂郁実 発行：(一財)関東大学サッカー連盟 協力：関東大学サッカーサポーターズクラブ

激闘のリーグ戦、優勝は専大、明大、順大!?

例年にない大混戦となっている「JR東日本カップ2014 第88回関東大学サッカーリーグ戦」も、今節の最終戦を残すのみとなった。前節の様子を簡単に振り返りながら、現在の状況をまとめてみよう。

首位・明大と3位・順大の直接対決は、両者譲らず0-0のスコアレスドローに終わった。一方、2位の専大は、優勝の可能性が消えた4位・早大とのゲーム。こちらは3-2で専大が早大を振り切って勝点3をゲットし、同勝点ながら得失点差で明大をかわして首位に立った。2位に明大、3位に順大となっている。

インカレ出場権(5位以内)を目指す国士大と残留が目標の桐蔭大のゲームは、国士大が桐蔭大を3-2で下して5位を死守。桐蔭大は残留を確定できなかった。

6位・慶大と7位・駒大というインカレ出場へ向けての対戦は、慶大が先制点を奪ったものの、その後、駒大が2-1で逆転。これによって駒大と慶大の順位が入れ替わった。慶大は自動でのインカレ出場がなくなり、プレーオフ出場(6位)権獲得を目指す。逆に、6位の駒大は自動でのインカレ出場まであと一歩。最終戦にすべてをかける。

残留争いも熾烈で、筑波大と東国大の直接対決は筑波大が4-0と圧倒。この時点で東国大の2部降格が決定した。

同じく残留争いの中大は、流経大とのゲーム。こちらは決着がつかず、2-

得点ランキング

前澤 甲気(専大)	12点
藤本 佳希(明大)	10点
平松 宗(国士大)	10点

アシストランキング

板倉 直紀(駒大)	8アシスト
差波 優人(明大)	7アシスト

2の引き分けに終わった。優勝争い、残留争いとも、各チームの条件はかなり複雑。まずは優勝争いだが、土曜日に2位の明大が先に試合を行い、明大が引き分け以下となると翌日の専大 vs 順大で勝ったチームが優勝となる。また、明大が勝った場合は、その時点で順大の優勝の可能性が消滅。そして、専大は得失点差で大きく明大を上回っているだけに、勝てば優勝が決定する。

一方の残留争いは中大と筑波大が直接対決で、勝ったチームが残留。引き分けの場合は筑波大が残留で、中大は桐蔭大の結果次第となる。第1試合で中大 vs 筑波大に決着がつかず、その時点で桐蔭大の残留が決定する半面、このカードが引き分けの場合、桐蔭大は引き分け以上の結果を残さないと降格となる。

例年以上に優勝、残留争いともに熾烈な戦いとなっている。ぜひ、スタジアムでその熱気を感じてほしい。

JR東日本カップ 2014 [第88回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

順位	専大	明大	順大	早大	国士大	駒大	慶大	流経大	桐蔭大	筑波大	中大	東国大	勝数	分数	負数	総得点	総失点	得失点差	勝点
1	専大	1△1 1●3	1●2 11月16日	3○0 3○2	2○0 2△2	6○0 5○3	2△2 3○2	2○1 1△1	5○2 0●1	2○0 1○0	4○2 6○2	2○0 2△2	13	5	3	54	28	26	44
2	明大	1△1 3○1	0△0 0△0	2○1 2○1	2●3 11月15日	2○0 3△3	0●2 4○1	0●1 1○0	4○1 1○0	3○1 1○0	1△1 2○1	1○0 3○0	13	5	3	36	18	18	44
3	順大	2○1 味フィ西	0△0 0△0	0△0 0△0	0△0 0△0	0●1 1○0	1○0 0●1	3○1 3○1	4○1 2○0	2○0 2○0	2○1 2○1	2△2 3△3	12	7	2	34	16	18	43
4	早大	0●3 2●3	1●2 1●2	0△0 0△0		3○1 1○0	3○1 2△2	2○0 11月16日	1△1 0●1	0△0 3○1	1○0 0●1	2○0 2○0	10	5	6	27	19	8	35
5	国士大	0●2 2△2	3○2 ゼットエーオリブ	1●2 0△0	1●3 0●1		2△2 2○1	0△0 1△1	0△0 4△4	3○2 3○2	1●3 5○1	1△1 1△1	8	8	5	35	30	5	32
6	駒大	0●6 3●5	0●2 3△3	0●1 1○0	1●3 2△2	2△2 1●2		0●2 11月15日	3○0 4○2	3○2 0●2	4○3 0●1	1○0 3○2	9	3	9	35	42	-7	30
7	慶大	2△2 2●3	2○0 1○4	1○0 0●1	0●2 味フィ西	0△0 1△1	2○0 1●2		0△0 0△0	2○0 2○2	1○0 0●2	0●2 0△0	7	7	7	22	22	0	28
8	流経大	1△1 2○5	0●1 1○4	2●3 1○4	1○0 0△0	4△4 0●1	ゼットエーオリブ 2●3	0△0 0●3	0△0 2○1	1●4 3○1	1○0 1●3	3○0 2○0	6	6	9	26	32	-6	24
9	桐蔭大	2○5 1○0	0●1 0●1	0●2 0●2	1●3 2●3	2○3 2○4	0●2 0●2	4○1 4○1		2○1 2○1	1●2 1●2	11月15日 11月15日	6	1	14	27	44	-17	19
10	筑波大	0●2 0●1	1●3 0●1	0●2 2●3	0●1 1○0	0●3 3○1	3○4 2○0	0●1 2△2	1○0 2○2	1●3 2○1	0△0 古河	1△1 1○0	5	3	13	22	31	-9	18
11	中大	2●4 2●6	1△1 1●2	1●2 0●4	1●2 0●2	1●2 1●5	1●2 1○0	1●2 2○0	0●1 2△2	3○1 2○1	0△0 古河	0●1 1○0	5	3	13	23	40	-17	18
12	東国大	0●2 2△2	0●1 0●3	2△2 3△3	0●2 0●1	1△1 1△1	0●1 2●3	2○0 0△0	3○4 0●3	0●2 古河	1△1 0●1	1○0	2	7	12	18	37	-19	13

体育会学生のための

リクナビ 就職エージェント

どうせなら、勝って泣きたい。

部活と就活にメールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会

RECRUIT

駒澤大学 vs 流通経済大学

11月15日(土)
11:30K.O.
ゼットエーオリブ

こここのところ元気がなかった駒大。前節の慶大戦も決して納得のいく試合内容ではなく、先制点を奪われる苦しい展開だったが、そこから2ゴールを奪って2-1で勝利を収め、順位を6位に上げてインカレ出場権獲得の5位まであと一歩と迫った。それだけにこの試合は非常に重要だ。

「もっと前からボールを取りにいかないといけないし、90分間走り回らなければならない」(秋田浩一監督)

駒大の従来の迫力という部分ではもう一つだったが、ケガ人、出場停止選手がいた中で勝ち切ったことはとても大きい。

「攻撃の部分はなかなか難しいところがあるが、ポストプレーをもっと使って、攻撃の幅を広げていきたい。ただ、それは少しぜいたくな話。とにかく一生懸命戦って、インカレ出場を目指したい」(秋田監督)

総理大臣杯優勝の流経大。リーグ戦の優勝を逃し3冠の夢は消えたが、インカレでの全国制覇を照準に戦っている。前節は残留争いに必死の中大とのゲームだったが、二度リードを奪ったにもかかわらず後半のアディショナルタイム6分に失点し、2-2の引き分けとなってしまった。

「相手もいいプレーをしていたので妥当な結果だと思う。最後の最後に追いつかれてしまったので、最後のワンプレーをどのように守れるかがインカレに向けた改善点になった。インカレ出場も決まっています、この試合に懸けるモチベーションを探るのが難しい状況の中で、選手たちがベストを尽くしてくれたことがよかった」(中野雄二監督)

インカレに向けて勝ち切る強さを出していきたい。

出場停止：柳川剛輝(駒大)

前期の対戦：駒大3-0(シュート数12-12)流経大

駒大		流経大	
15. 須貝	11. 小牧	7. 森保	2. 湯澤
32. 松島		19. ジャーメイン	18. 今津
	10. 板倉		27. 塚川
1. 秋山	14. 中村	12. 菊池	21. 吉田
	6. 唐木沢		6. 富田
17. 立石		23. 森永	33. 真辺
13. 大木	7. 平野	8. 西谷	4. 鈴木

中央大学 vs 筑波大学

11月15日(土)
11:30K.O.
古河

懸命に残留争いを戦っている中大。18節から破竹の3連勝でここまで乗り切ってきたが、前節の流経大戦は2-2の引き分けに終わった。

「今日は勝たなければいけないゲームだった。そういう意味では不満が残る」(佐藤健監督)

3試合連続無失点だったが、この日は前半26分に先制点を奪われた。31分に同点に追いついたが、後半の立ち上がり6分に再び勝ち越される苦しい展開。それでも最後まであきらめることなく、アディショナルタイム6分にCKからゴールを決めて勝点1をもぎ取った。

とはいえ、2失点の部分は大きな反省点。

「流経大の試合巧者な部分が出ていた得点ではあるが、そこをなんとか抑えられないと1部リーグには残れないことを痛感した。とにかく来季1部リーグでやりたいので、選手と一緒に最後は笑顔で終わられる試合にしたい」(佐藤監督)

勝てばその時点で残留決定。負ければ降格、引き分けの場合は第二試合の桐蔭大の結果次第となる。

現在10位と残留圏内の筑波大だが、負ければ降格の危険性があるだけに重要な一戦だ。

前節は残留争いの直接対決だったが、東国大を4-0

と圧倒した。

「結果が出たことは満足している。前半の内容は満足いくものだったが、後半は途中から入った選手やチーム全体がよくなかった。プレッシャーがかかる試合の中でも、自分たちらしくやってくれたという点は収穫。それでも後半は受けた部分があった」(小井土正亮ヘッドコーチ)

不満な点もあるが、泣いても笑っても最後の1試合。後悔のない試合をしたい。

前期の対戦：中大0-0(シュート数6-7)筑波大

中大		筑波大	
2. 縣		28. 吉川	4. 浅岡
	23. 翁長		8. 早川
12. 小出			18. 三宅
	8. 三島	17. 中野誠	1. 岩脇
1. 前田	17. 飯干	19. 矢島	10. 中野嘉
	10. 砂川		7. 車屋
18. 森重		11. 古橋	5. 西村
6. 鴨池		26. 戸嶋	3. 三丸

明治大学 vs 国士舘大学

11月15日(土)
13:50K.O.
ゼットエーオリブ

順大との対戦は0-0のスコアレスドローに終わった明大。勝っていれば優勝に大きく近づいただけに、何とも悔しい引き分けだが、

「お互い緊張感のあるレベルの高い試合だったが、その中で勝利をつかめなかったことが悔しい」(栗田大輔監督)

それでも後期リーグ8勝2分と無敗街道を突っ走っており、現在、一番調子がよく、安定感抜群なチームだ。ただ、順大戦では攻撃陣が無得点に終わり、

「相手の固い守備を崩せなかったことが課題」(栗田助監督)

今節の国士大も全体的にゴール前をしっかりと固めて守ってくるだけに、いかにゴールを奪うかがポイントとなりそうだ。

そして、専大vs順大の前日に試合が行われるだけに、しっかりと勝って相手にプレッシャーを与えたいところ。逆に、敗ればその時点で優勝の可能性は消滅する。前期5位からの大逆転優勝はあるか!?

現在5位の国士大。インカレ出場に向けて負けられない試合が続くが、前節の桐蔭大戦は苦しい試合ながらも3-2でモノにし、5位をキープした。

「前半はあまり出来がよくなかった。素早く相手に寄せる、セカンドボールを取る、あるいはパスを引き出すという積極的なプレーに欠けていた」(細田三二監督)

この試合に限らず、こここのところ少し積極性に欠けるプレーが目立つ国士大。守備の意識が高いのはいいことだが、そこから前に出ていく勇気を持ちたい。

「試合の入り方はしっかりと修正したい」(細田監督)

第1試合で駒大が勝っていれば、インカレ出場には引き分け以上の結果が求められる。

前期の対戦：明大2-3(シュート数6-9)国士大

明大		国士大	
6. 高橋	8. 石原	14. 佐々木	25. 中村
5. 松藤	11. 藤本	12. 田中	36. 遠藤
	18. 苅部		6. 海野
1. 三浦			1. 小澤
	7. 差波		8. 松本
3. 山越	10. 和泉	11. 平松	4. 今瀬
2. 室屋	9. 矢島	10. 進藤	2. 藤崎

桐蔭横浜大学vs東京国際大学

11月15日(土)
13:50K.O.
古河

第1試合の中大vs筑波大で勝敗がついた場合は、その時点で桐蔭大の残留が決定する一方、引き分けの場合は何が何でも勝点1を取らなければいけない状況に追い込まれる桐蔭大。前節の国士大戦で残留を確定させたかったが、あと1点が足りずに2-3の敗戦。

「最低でも勝点1を取りたかった。それもできなかったので非常に残念だ」(八城修監督)

前半は相手の調子が悪くチャンスを作っていたが、そこでゴールを奪えずにいると、後半にたたみかけられてしまった。それでもアディショナルタイムに2点目を奪うなど、粘り強い戦いはできているだけに、あと1試合、自分たちらしいサッカーを披露したい。

「東国大は降格が決まっていますが、非常に頑張るチーム。すべてを出し尽くしたい」(八城監督)

前節、筑波大に0-4で敗れ、1年での2部降格が決まってしまった東国大。前半8分の失点を皮切りに4失点。後半は耐えて無失点に抑えたものの、何とも悔しい敗戦となった。

「お互いに重要な試合だった。筑波大戦の対策はしていたが、ディフェンスラインのワイドへの対応がうまく機能しなかった。そこから突破されてチャンスを作られて

しまった。まだまだ1部リーグとの差があると感じた。壁にぶつかるころまできたので、どう突破するか考え直す。1部リーグで手に入れた財産を、来季2部リーグで発揮できるようにしたい」(前田秀樹監督)

後半14分に退場者を出したが、そこから本来の動きができるようになっただけに、前半の戦いが何とも悔やまれるが、とにかくこれがリーグ最終戦。1部で得たものをしっかりと表現したい。

出場停止：国井拓也(東国大)

前期の対戦：桐蔭大2-0(シュート数9-3)東国大

桐蔭大		東国大	
28. 中島	7. 山根	8. 上船	6. 新聞
24. 時田	25. 鈴木	18. 進	5. 鈴木
	13. 岡本		23. 成田
1. 土井			21. 今野
	6. 福島		10. 若井
4. 古澤	10. 坪井	24. 樋尾	2. 大森
18. 佐々木	9. 今関	17. 薪苗	3. 新地